学校番号	105

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅰ	2	1	Revised Applause English Logic and Expression I

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

論理表現Ⅰでは、「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の三つの力を総合的に伸ばします。　授業では、自分の考えを整理し、相手に伝わる形で表現する練習を重ねます。　日ごろから英語で「伝える」ことを意識し、友達との会話や短いメモ書きなど、小さな実践を積み重ねることで力をつけていきましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	発話の要点や論理構造を聞き取り、主張と理由を区別して理解できる。議論の流れを追いながら複数の意見を比較し、話し手の意図や前提を推測しつつ、自分の意見形成に必要な情報を選び取ることができる。	文章の主張や根拠を正確に読み取り、接続語や指示語の働きを理解しながら論理展開を把握できる。複数資料を比較し、情報の関係性や妥当性を判断しつつ、自分の考えを形成するために必要な内容を整理できる。	相手の意見を正確に受け止め、質問や応答を通して対話を深めることができる。自分の立場を根拠とともに示し、相手の発言に応じて柔軟に考えを調整しながら、協働的に議論を進めることができる。	主張・根拠・結論を明確に構成し、聞き手に合わせた説明や資料の活用ができる。複数の意見を踏まえて自分の立場を整理し、質疑応答にも論理的に対応しながら、説得力のある発表を行うことができる。	主張と根拠を明確に示した論理的な文章を書くことができる。読んだ資料や聞いた内容を根拠として取り入れ、複数資料を統合して自分の立場を構築できる。推敲を通して誤謬や曖昧さを改善し、読み手に伝わる文章に仕上げられる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文章や発話の仕組みを理解し、主張や根拠を正確につかむ力を土台として、対話・発表・文章作成で必要な情報を整理し、論理的に使いこなす技能を育てること。	話し手の意図や前提を踏まえて意見を比較し、資料を組み合わせて自分の考えを論理的にまとめる力を重視する。対話や質疑を通して考えを深め、適切な表現で伝える力の育成を目指すこと。	相手の話を丁寧に聞き、議論に積極的に参加しようとする姿勢を大切にする。発表や文章作成に向けて計画的に準備し、よりよく伝えようと工夫し続ける意欲を育てること。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1 学期	Pre-Lesson Lesson 1 Lesson 2	話すこと （やり取り）	a: 基本時制の形・未来表現の用法を理解し、適切に把握している。 b: 身近な出来事や自分の考えを、相手に伝わるように表現できる。 c: 相手の話す内容や質問に対して、伝わるまで答えたりできる。	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
		書くこと	a: 人物紹介や予定などが、正確に伝わるよう書くことができる。 b: 必要な情報を整理し、わかりやすい英語で書くことができる。 c: 必要な情報を整理し、英語表現をわかりやすく書こうとしている。	
		読むこと	a: 短い文章の要点を読み取ることができる。 b: 主張と根拠を区別して理解することができる。 c: 読解ワークへ積極的に参加する。	
		聞くこと	a: 発話の大意を聞き取り、内容を整理することができる。 b: 文章や発話の流れを論理的に追うことができる。 c: 授業での聞き取り姿勢。	
	中間考査			
	Lesson 3 Lesson 4	話すこと （発表）	a: 助動詞・完了形の用法を理解し、適切に把握している。 b: 必要な情報を整理し、わかりやすい英語で話すことができる。 c: まとまりのある内容を、前向きに根気よく話そうとしている。	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
		書くこと	a: 正確に情報が伝わるように、まとまった内容を書くことができる。 b: ５文以上のまとまりのあるパラグラフを書くことができる。 c: わかりやすくしようと努めながら、根気よく書くことができる。	
		読むこと	a: 論理の基本用語（主張・根拠・例示など）を理解している。 b: 要約の基本手順を理解し、簡潔にまとめられる。 c: 読む活動に前向きに参加する	
		聞くこと	a: 聞き取り内容をメモし、整理できる。 b: 発話内容の主張・理由を整理し、再構成できる c: 聞く活動に前向きに参加する	
	期末考査			
2 学期	Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7	話すこと （やり取り）	a: 受動態、比較の用法および様々な表現を正確に理解している。 b: 身に付けた知識・技能を活用し、相手に伝わるよう表現できる。 c: 積極的に会話を続けようとしている。	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
		書くこと	a: 受動態や比較表現を活用し、正確に書くことができる。 b: わかりやすく、まとまりのあるパラグラフを書くことができる。 c: わかりやすくしようと努めながら、根気よく書くことができる。	
		読むこと	a: 図表・データを含む文章を読み取り、情報を整理できる。 b: 複数の論点を比較し、違いを説明できる c: 資料読解活動に積極的に参加する	
		聞くこと	a: 発話内容を正確に聞き取ることができる。 b: 発話の意図や前提を推測できる。 c: ディスカッションで他者の意見を聞き、応答しようとする。	
	中間考査			
	Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10	話すこと （発表）	a: 動名詞や to 不定詞､分詞の用法および表現を正確に理解している。 b: 身に付けた知識・技能を活用し、相手に伝わるよう表現できる。 c: 根気よく答えたり、聞き返したりしている。	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
		書くこと	a: 動名詞や to 不定詞､分詞の用法および表現を正確に理解している。 b: わかりやすく、まとまりのあるパラグラフを書くことができる。 c: わかりやすくしようと努めながら、根気よく書くことができる。	
		読むこと	a: 複数資料の読み比べができる。 b: 論点の対立や前提の違いを説明できる。 c: 他者の意見を踏まえて自分の考えを修正しようとする。	
		聞くこと	a: 発話内容を論理的に再構成できる。 b: 他者の意見の強み・弱みを判断できる。 c: 討論や発表に主体的に参加する。	
	期末考査			
3 学期	Lesson 11 Lesson 12 Lesson 13 Lesson 14	話すこと （発表）	a: 関係詞・仮定法・接続詞の用法を正確に理解し、まとまった内容を話すことができる。 b: 情報を整理し、わかりやすい英語で表現し、話すことができる c: わかりやすい英語で表現し、前向きに根気よく話そうとしている。	・授業での取り組み ・課題などの提

		話すこと （やり取り）	a: 身近な出来事を、基本的な語句を用いて、即興で伝え合い、相手の言う内容も正確に理解することができる。 b: 情報を整理して、相手に伝わるよう、表現することができる。 c: 話したい内容が相手に伝わるように、会話を続けようとしている。	出状況 ・評価問題
		書くこと	a: 関係詞・仮定法・接続詞の用法を正確に理解している。 b: ７文以上のまとまりのあるパラグラフを書くことができる。 c: ７文以上のまとまりのあるパラグラフを根気よく書こうとしている。	
		読むこと	a: 複数の文章・資料を統合し、論点を整理できる。 b: 複数の意見を踏まえて自分の主張を再構築できる。 c: 読む活動を自分の表現に生かそうとする姿勢が見られる。	
		聞くこと	a: 発話内容を批判的に聞き取り、必要な情報を抽出できる。 b: 論理の飛躍・誤謬・偏りを指摘できる。 c: 聞く活動を自分の表現に生かそうとする姿勢が見られる。	
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度